

竿（さお）



ビーチボール



【阿久比支署 救命ボート訓練実施時撮影】

事故が起きたときの処置

大声を出すなどして、近くにいる人に助けを求める。
 水の中に入り救助する場合は、二重事故に注意する。
 消防署（119番）、警察署（110番）、海上保安庁（118番）に早く知らせる。
 岸から浮き輪、ビーチボール、竿（さお）、クーラーボックス、ペットボトルなどを使って援助する。

乳幼児の事故は、周囲の大人が気を配って予防する以外に方法はありません。



乳幼児は、体に比べて頭が大きく、力も弱いので、バケツなどに頭から落ちこむと自分ではなかなか起き上がりません。コップ一杯（鼻と口を覆うだけ）の水があれば、いつでもどこでも事故は起こり得ます。

乳幼児のために家庭内を見直しましょう。

- 水の入っている浴槽
- 使用中の洗濯機
- 水の入っているバケツやたらい
- 洗面所、便所
- 遊んだ後のビニールプール
- 庭の池

半田消防署阿久比支署では、救急法の講習会を随時受け付けています。

- 上級救命講習会(8時間受講) 成人・乳児など対象の心肺蘇生法+止血法+AED+搬送法など
- 普通救命()講習会(3時間受講) 成人対象の心肺蘇生法+止血法+AED
- 普通救命()講習会(4時間受講) 成人対象の心肺蘇生法+止血法+AED
 (希望により小児・乳児などに対する心肺蘇生法も実施します。)

※AED(自動体外式除細動器)とは、今まで医師、救急救命士などにしか使うことができなかった心臓に電気ショックを与える機器です。

問い合わせ先 半田消防署 阿久比支署 ☎47-0119